

第10回 サイエンスフェアin兵庫 ポスター発表 県立姫路餅西高等学校 自然科学部

「第10回 サイエンスフェアin兵庫」に参加し、これまで一年間取り組んだ新しいテーマ「**齢期間調査**」と「**産卵場所調査**」について、タイトル「**人工環境下におけるトゲナベフタムシの生態解明**」でポスター（パネル）発表をしました。トゲナベフタムシの魅力と不思議を見る人・聞く人に伝え、わかりやすいプレゼンテーションを心がけました。



パネル発表の準備ができました。理化学研究所で行われた開会宣言および特別講演は、物理分野の人たちが多く集まっていた。開会宣言では、自然科学の発表は自分や他の発表を言ったり聞いたりして、たくさん交流しましょうと言われました。

また、若手科学者からの特別講演は、高校時代はどんな生活だったか、大学とはどのようなところかを、笑い声も出る雰囲気的身近に感じる分かりやすい講演で、自分の目標を立てることもできました。全体後半には、企業パネル発表があり、たくさん的高校生が質問しました。



ポスター発表では、3つのグループに分かれ前半・後半を分担して発表しました。

前半は、研究目的とトゲナベフタムシの特徴、新しい調査の1つ目「各齢期間調査」について発表しました。後半は、2つ目の新調査「産卵場所調査」と今後の課題について発表し、飼育培養の難しさや新しい取組の方針を説明しました。発表後にはたくさんの質問を受け、質問者へ分かりやすく回答すると共に、自分たちが新しい疑問点に気付くこともできました。